神戸地本 NEWS
～WEST UNION KOBE～

JR西労組
ダイレクトニュース
「友だち追加」から
「ＩＤ検索」または
「ＱＲコード」で登録
（LINE）
@dzc0159s

2026年1月1日
No.12
発行責任者　須原　和也
編集責任者　出口　洋介

西日本旅客鉄道労働組合 ～WEST UNION～ 神戸地方本部　〒650-0025　神戸市中央区相生町4-1-33 TEL 078-341-8910

2026年元旦　謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。年末年始輸送の完遂に向け、昼夜を問わず現場でご尽力いただいた仲間の皆様に、あらためて深い感謝と敬意を表します。

２０２６年の年頭に当たりご挨拶申し上げます。

本年は福知山線列車事故から２１年、阪神淡路大震災から３１年、朝霧～明石間での触車死亡事故から２５年を迎えます。私たちは、過去の悲惨な事故の教訓を決して忘れてはなりません。安全文化の醸成は終わりのない取り組みです。

ＪＲ西日本グループ鉄道安全考動計画２０２７の完遂に向け、「安全お守り手帳」を活用した職場点検を進め、基本動作・ルール遵守を徹底しましょう。

さらに、ＪＲ西労組が提唱するＡＢＣ運動（Ａ＝当たり前のことを、Ｂ＝バカにせず、Ｃ＝ちゃんとする）を職場に根付かせ、日々の業務で「安全第一」を積み重ねることが重要です。一人ひとりの考動が安全文化をつくります。

２０２５年は、大阪・関西万博の準備から開催期間、そして終了まで、ＪＲ西日本グループ全体で安全・安定輸送を完遂することが求められた一年でした。神戸地本所属の仲間も、『プラスワントリップ』など地域魅力発信の施策に参画し、公共交通の価値向上に貢献しました。こうした需要の広がりも背景に、ＪＲ西日本の業績は総じて好調に推移しました。一方、現場では構造改革やデジタル化に伴う業務の見直しや変更が進み、安全確保と運行品質の両立が継続的な課題となりました。私たちは、心理的安全性を大切に、現場の声を起点にした対話と改善を重ね、誇りと希望を持って働きやすい職場づくりを進めます

社会全体では、春闘の賃上げ継続・生産性向上に焦点が当たり、生成ＡＩや自動化の浸透が加速しました。鉄道の現場でも、新技術の活用と人による確認・基本動作の徹底を統合する視点が求められています。また、政治面では、衆議院の解散・総選挙はいつ起きてもおかしくない状況です。その為、公共交通の課題に理解を持つ候補者を応援し、組合員の声を国政に届ける取り組みを進めます。ＪＲ西日本は完全に民営化されているものの、法令の制限も多く政治の力は必要不可欠です。国の道路予算約１．９兆円に対し、国内輸送の約２５％を支える鉄道事業には約１，２００億円程度という現状を打破し、ＪＲ産業の発展に寄与していただくとともに、働く者の声に耳を傾け、まじめに働く者が報われる社会を実現するため、国政の場でご活躍いただきたいと考えています。

一方、社内に目を向けると、２０３０年のありたい姿に向けた構造改革やＤＸの導入が急速に進み、仕事のやり方や求められる力が変わりつつあります。こうした変化に対応しながらも、現場の知見や経験がしっかり活かされることが大切です。私たちは、組合員が安心して働き続けられるよう、会社の取り組みを現場で確実に機能させるため、点検や対話を重ねていきます。さらに、働きやすさを守るため、処遇改善の充実を進め、地域とともに公共交通の価値を高める取り組みを続けます。こうした課題に向き合うため、中央本部・支部・分会・青年女性委員会と連携しながら、組合員の声を起点に会社との協議を進めていきます。

最後に安全は言葉だけでなく、日々の考動で積み重ねていくものです。

当たり前のことを、バカにせず、ちゃんとする。

この確かな一歩を積み重ねながら、誇りと希望を胸に、公共交通の価値を高める一年にしていきましょう。

本年が、組合員とご家族の皆様にとって、健康で充実した一年となることを心より祈念し、新年のご挨拶といたします。

共に頑張りましょう。本年もよろしくお願いいたします。

ＪＲ西労組神戸地方本部
執行委員長　須原　和也

本年もよろしくお願い申し上げます

執行委員長	須原　和也
副執行委員長	橋本　茂
副執行委員長	友田　康広
副執行委員長	鳥住　彰伸
書記長	石原　正明
企画部長	大澤　聡
組織部長	松野　祐樹
業務部長	松浦　正義
教育部長	梅井　洋彦
情宣部長	出口　洋介
文化・レク部長	本多　博一
女性活躍推進部長	藤井　絵利香
政策調査部長	田淵　正記
賃金対策部長	松田　丈
新幹線対策部長	金井　博哉
社会共闘部長	岡　守
政治部長	鳥居　愛美
男女平等参画推進部長	水元　久美
特別執行委員	後藤　直人
（青年女性委員長）	
特別執行委員	川原　孝義
（中央本部副執行委員長）	
特別執行委員	大路　弘美
（中央本部組織・業務部次長）	
特別執行委員	大内　政毅
職員	山田　有紀
職員	山田　牧子